

< 報告事項 >

(1)2022 年度当初予算について(資料2)

主に全面公開を開始した「町田デジタルミュージアム」の普及、新たな生活様式に沿った展示環境の整備、中学校給食センターの建設に伴う資料の整理・移送に関する予算編成となっています。

(2)「町田デジタルミュージアム」の全面公開について(資料3)

2022 年 4 月 1 日から「町田デジタルミュージアム」を全面公開しました。

(3)考古資料と民俗資料の移転について

中学校給食センターの建設に伴い、旧忠生第六小学校及びゆくのき学園に保管している資料を整理した上で、2022 年 7 月末までに民俗資料を三輪の森ビジターセンターへ、考古資料をゆくのき学園へ移送します。

(4)「町田市生涯学習推進計画 2019－2023」に基づく 2021 年度の事業実績について(資料4)

「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」に基づく 2021 年度事業実績報告シート(案)について報告します。

(5)「町田市立自由民権資料館のあり方見直し方針」に基づく、今後の事業・運営について(資料5)

2020 年度に策定した「町田市立自由民権資料館のあり方見直し方針」に基づき、今後、実施する自由民権資料館の取組内容を報告します。

(6)町田市指定旧跡「伝鎌倉井戸(鎌倉古道推定地)」の井戸枠の破損について

4 月 5 日に車が衝突したことにより、井戸枠が損壊しました。現在は、安全の理由により井戸枠を撤去して教育委員会で保管しています。2019 年度、2020 年度にも車が井戸枠に衝突する事故が発生しました。現地は道幅が狭く、夜間は暗いため、井戸枠を修復しても同様の事故が今後も発生する可能性が懸念されます。



< 破損状況 >

(7)自由民権資料館 2022 年度企画展「野津田薬師堂と武相寅年薬師」の実施報告について
(別添チラシ)

【開催期間】 2022 年 4 月 9 日(土)～5 月 8 日(日)〈26 日間〉

【会場】 自由民権資料館企画展示室

【観覧者数】983 人(1 日平均 38 人)

寅年の今年は、武相地域の 25 霊場で薬師如来が 12 年に一度、開帳される年です。市域でもいくつかの寺院で薬師如来が開帳され、野津田薬師堂もそのひとつです。野津田薬師堂の本尊である薬師如来坐像は、町田市指定有形文化財に指定されており、12 年に一度寅年に開帳され、その御利益にあやかる風習が残っています。

今回の展示では、この貴重な機会に、江戸時代から現代に至るまで、周辺地域の人々の生活や信仰に深くかかわってきた野津田薬師堂の歴史と薬師如来開帳について紹介しました。

(8)その他資料の活用等について(2022 年 3 月 31 日までのもの)

内容	開催日	場所	参加人数
【出張授業】 地域めぐりの事前学習として「町田の郷土史について～自由民権運動を中心に」の授業を実施	2022/1/26	真光寺中学校	84
【フィールドワーク】 「町田の歴史を歩く2022」 歴史上の場所について、3コースを設定して案内しながら、市域の歴史に触れることで、自由民権運動や町田市域の歴史について、市民の理解を深めてもらった	2022/3/13	①薬師池公園・野津田神社ほか	20
	2022/3/21	②華厳院・村野生家ほか	19
	2022/3/27	③野津田・大蔵	19
【アウトリーチ展示】 考古資料を展示予定だったが、新型コロナウイルスまん延防止措置により中止	-	ふれあい桜館	-
【アウトリーチ展示】 ①4/1～8/3 隆起線文土器・レプリカ(市指定有形文化財、縄文時代草創期) ②8/4～11/30 注口土器2点(縄文時代後期) ③12/1～3/31 異形台付土器・レプリカ(都指定有形文化財)	2021/4/1～ 2022/3/31	ぽっぽ町田内 町田ツーリストギャラリー (観光案内所)	15,414